

読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

ブッポウソウは岡山県吉備中央町の「町の鳥」に定められています。記事を読み、質問に答えましょう。

Q1 記事にはブッポウソウの写真が載っています。写真を見てどう思いましたか。どこに注目しましたか。

ブッポウソウ飛来待つ



巣箱の点検と清掃を行う「ブッポウソウ吉備中央町会」のメンバー

吉備中央町の「町の鳥」に定められている希少な渡り鳥・ブッポウソウの飛来シーズンを前に、保護活動に取り組む住民グループ「ブッポウソウ吉備中央町会」(綱島恭治会長、41人)が巣箱の清掃、点検を進めている。町内の里山に設置した約110個を回り、「森の宝石」と呼ばれる美しい姿を心待ちにしている。(井上恭之)



「森の宝石」とも呼ばれるブッポウソウ (吉備中央町提供)

吉備中央
保護活動の住民グループ

Q2 ブッポウソウはその美しい姿から何と呼ばれていますか。第1段落や写真説明にある言葉を抜き出しましょう。

里山に設置 巣箱110個清掃、点検

ブッポウソウは体長約30センチで鮮やかな青色の翼を持ち、環境省のレッドリストで絶滅危惧1B類に指定されている。同町は国内有数の繁殖地とされ、5月ごろに東南アジアから飛来し、産卵と子育てを経て8月に飛び立つ。同会は毎年この時季、会が整備した約90個と個人設置の約20個の巣箱を清掃。18日には綱島会長ら3人が御北地区を回り、鉄製の柱に上って、約6尺の高さに設置した巣箱の内部のふんや虫を取り除き、傷み具合を確認した。綱島会長は「清掃作業は大変だが、子や孫が帰ってくるようであらう。多くの人に覚えてもらい、保護の取り組みや町の豊かな自然に関心を持ってもらえたら」と話していた。同会によると、町内には毎年約600羽が飛来し、約千羽のひなが巣立っていく。同会は、同町下土井など町内4カ所に観察小屋を整備しており、多くの野鳥愛好家らが訪れている。

2023年4月19日付山陽新聞、備前面

過去の問題は
こちらから▶▶

Q3 ブッポウソウは渡り鳥です。吉備中央町の住民グループは、5月ごろの飛来シーズンを前に巣箱の清掃や点検をするなど、保護活動に取り組んでいます。記事の中では吉備中央町内には毎年何羽が飛来し、何羽のひなが巣立っていくと書かれていますか。次の文章に適切な数字を入れましょう。

毎年約 羽が飛来し、約 羽のひなが巣立っていく

◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。